

平成31年2月23日

宗教法人 阿蘇神社

## 〈お知らせ〉

### 倒壊した拝殿再建のための用材調達について【指定寄附金対象事業】

指定寄附金を活用した復旧事業を開始して3年目に入りました。昨年12月1日には、事業対象としていた齋館の復旧工事が無事に完了しました。これも皆様のご支援のお陰と厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、熊本地震で倒壊した拝殿の再建につきましても並行して準備を進めてまいりましたが、このたび県産材や地域材を使用して再建することになりました。つきましては、下記のとおり用材の調達を開始しましたのでご報告申し上げます。

なお、本件は用材の調達に時間を要するための事前着手で、再建工事の着工ではありませんので、ご承知置きくださいますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1、県産材・地域材使用の目的

指定寄附金事業を活用した拝殿の再建については、阿蘇地域を中心とした用材を使用することで、単なる復旧にとどまらず地域的な意義が付加されます。

また、阿蘇地域材の中には、熊本県立阿蘇中央高校の演習林の木材（ヒノキ50本）も含まれます。この演習林は、学校統合前（旧阿蘇農業高校、旧阿蘇清峰高校）から80年以上にわたり生徒に育てられてきたもので、このたび学校側の格別のお申し出によってご寄贈いただくことになりました。これまで生徒により大切に育てられた木を利用することで、阿蘇神社の復旧事業が、教育活用と郷土意識の醸成に大きく貢献することが期待されます。

#### 2、用材調達の方法

木材の調達に関しては、阿蘇森林組合が全面協力し、組合との間に伐採、製材、管理を含む委託契約を結びました。

管内森林の約8割が阿蘇森林組合員の所有で、かつ組合は木材市場や木材製材も所有しています。また、造林、下刈り、間伐など管内の森林整備の多くを実施し、豊富な経験や高度な技能を有した専門職員も確保しており、地域の中心的な林業事業体であります。さらに、地元高校への伐採指導や保育園児への木育活動など、地域に対する貢献度も高い組合です。

以上のことから、森林・林業・木材産業に精通し、地域に対する貢献度も大きい阿蘇森林組合と契約することにしました。契約期間は、平成31年2月20日から用材すべ

での納品日までとなります。

### 3, その他

本件は、拝殿再建工事の着工が未定ながら、木材調達に時間を要するために先行して実施するものです。拝殿工事の受注業者は、この木材を使用することを条件に後日選定されることとなります（時期は未定）。工事全体の設計監理業務は、すでに日本建築工芸設計事務所（東京都、神社本庁内）との間に委託契約を結んでいます。

この事業費の一部には、当神社に寄せられた寄附金が充当され実施されます。今後も復旧事業の適正運営に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

以上



平成31年2月21日、熊本県立阿蘇中央高校小柏演習林において伐採を開始する安全祈願祭が執行されました。